

英語論文作成法 (2単位)

担当者氏名 夏秋 啓子・岩本 純明・板垣 啓四郎・志和地 弘信・高根 務
小塩 海平・三簾 久夫・足達 太郎・入江 憲治・杉原たまえ・中西康博

◆学習・教育目標

英語による論文を第一著者として執筆し査読付雑誌に掲載されるまでのプロセスを、実際に論文執筆、投稿雑誌の選択から投稿、編集委員や査読者との連絡、査読に応えての改訂、校正から受理までを経験しながら修得する。受講者は個別に指導教員の指導を受けながら、その指導に応じて作業を進め、そのプロセスにおいて学習に費やした時間数を累計するとともに、投稿誌からの受理証明を得ることを単位の修得にあたっての必要条件とする。英語による論文発表に必要な手法を修得することが、到達目標である

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

英文論文 _____ 執筆 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	講義概要の説明	英文論文執筆の意義への理解	投稿可能なデータのとりまとめと関連論文の渉猟、投稿論文の執筆から編集者との連絡そのほかについて、指導を受けるとともに、その内容を詳細に記録して理解を深める。授業の進行は、投稿論文の進捗状況によって変更する可能性がある。
2	参考論文の収集	参考論文の収集と構成への理解	
3	シノプシスの執筆	シノプシスを検討し作成	
4	投稿要領への理解	投稿誌を選択し投稿要領を検討	
5	本文執筆と校正 (1)	原稿を執筆し、教員の指導で構成する。	
6	本文執筆と校正 (2)	必要に応じて英文校閲も受けるものとする。	
7	本文執筆と校正 (3)		
8	本文執筆と校正 (4)		
9	図表作成と校正 1	図表を作成し教員の指導で校正する	
10	図表作成と校正 2	投稿票の作成と投稿	
11	投稿手続きへの理解	査読結果の理解と論文の改訂	
12	査読結果の理解 1	改訂から再投稿へ	
13	査読結果の理解 2	受理証明の受領まで	
14	まとめと評価 1	共著者への連絡、別刷の受領ほか、著者としての様々なマナーの理解	
15	まとめと評価 2		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

各回の内容を累計 90 分以上実施し、その理解の程度 (20%)、および第一著者として執筆した論文が受理されたこと (80%) により評価を行う。

◆その他受講上の注意事項

教員の指導を受けた日時や時間と、指導に応じて予復習した内容を毎回記録し、承認印を受けること。
認定の詳細は講義の開始時に配布するので、十分に理解して進めること。評価責任者；夏秋 啓子
